

# 統合国際深海掘削計画 (IODP) 会議報告書

提出年月日： 平成19年10月13日

(ふりがな) すずきのりとし

氏名： 鈴木 紀毅

所属(職名): 東北大学大学院・理学研究科・地学専攻(助教)

会議名	Scientific Technology Panel(STP)会議
期間(移動を含む)	平成19年8月18日 ~ 平成19年 8月24日
用務地(国・都市)	中華人民共和国・北京
目的	STP 会議への参加のため.
<b>会議内容及び報告事項</b>	
<p>・日本からの出席者 (STP 委員) 池原 実(高知大学), 稲垣 史生(海洋研究開発機構:布浦委員代理), 小田 啓邦(産業技術総合研究所:岡田委員代理), 鈴木 紀毅(東北大学), 齋藤 実篤(海洋研究開発機構:阿波根委員代理), 成瀬 元(京都大学), 林 為人(海洋研究開発機構)</p> <p>(リエゾン) 青池 寛(C-DEX), 川村裕( IODP-MI ), 松田繁美(C-DEX)</p>	
<p><b>【会議内容】</b> 事前配付されたアジェンダに従い報告・議論を行なうとともに,追加検討事項として IODP-MI から要請された,予算削減に伴う対応策について議論を行った.会議が半日延びて3日間半の議論を経て,8項目のRecommendationと24項目のConsensus Statement(退任委員への感謝を含む),3項目のAction Itemをまとめ,会議の決議とした.そのうち重要な項目を以下に特記する.</p> <p>STP Recommendation 0708-01: IODP Budget Models 予算削減に応じた船上科学計測のあり方について,極端なモデルを含めて可能性の検討を行った結果,船上作業の削減や省力化は,科学的成果の質を低下させることにつながるとの見解で委員の意見の一致を見た.</p> <p>STP Recommendation 0708-02: IODP Measurement Document 予算削減に伴ない,船上計測の必須・通常・推奨計測項目の再検討を行った.</p> <p>未処理のAction Itemの進行状況の確認 未処理のAction Itemを整理し,ライザー掘削時の泥水浸入の影響評価(STP Action Item 0612-29),微生物用レガシーサンプルの取り扱い(STP AI 0612-31),微生物用サンプルの採集計画(STP AI 0502-07と0502-08)について,答申が無いので,再度返答を求めることになった.</p> <p>STP Recommendation 0708-06: Non-magnetic core barrels non-magnetic core barrelの実用について,US10とC-DEXに意見を求め,前向きな回答を得た.STPとして,C-DEXとESOにさらなる検討を進めるよう勧告した.</p> <p>STP Recommendation 0708-07: Leak OFF Test 「ちきゅう」のライザー掘削におけるLeak OFF Test (LOT)/Extended (X)Lot dataを応力評価に使用するフィジビリティ調査をCDEXに求めるよう,IODP-MIへ要求した.</p> <p>STP Recommendation 0708-08: QA/QC Draft Report IODP-MI下のQA/QC Task Force分科会の報告書案を審議し,最終案の提出を求めることにした.</p> <p>以下について,STPのConsensusとしてSPCへ上申した. ・EDPとの合併ないし共催の提案について,望ましくない(STP Consensus 0708-09)</p>	

・ EDP に対し, Open Hole VSP についての答申を再度要求する (STP Con 0708-15)

STP の Consensus として, 次の項目を SPC と IODP-MI へ上申することとした .

- ・ 会議中のインターネットアクセスを禁じる (STP Con 0708-10)
- ・ 下船後の成果・データを追跡収集する方策 (STP Con 0708-13) , 圧力温度ツールについての実装計画 (STP Con 0708-16) についての報告を求める .

STP の Consensus として, 次の項目を IODP-MI へ上申した .

- ・ 次の機器や参照資料を用意することを求める : (1) スミアスライドや薄片の標準標本 (STP Con 0708-12) , (2) Grain Size 計測用 Laser granulometer などの機器 (STP Con. 0708-22)
- ・ 高圧下における Vp・Vs 計測についての現状 (STP Con. 0708-17) , Core Log Seismic Integration (STP Con0708-18) , コア半割技術の問題点 (STP Con. 0708-19) , Seismic source の現状 (STP Con. 0708-20) について答申を要求する .
- ・ Paleontology Coordination Group の作業を進行させること (STP Con. 0708-21)
- ・ VCD/Lithology の辞書/カタログをメンテナンスするワーキンググループを設立すること (STP Con. 0708-23) .

#### 委員交代

- ・ 阿波根委員と岡田委員が北京会議で退任するが, 鈴木委員の退任が次回へ延長された旨, 斎藤委員から報告があった .

次のことを STP の継続検討課題 (Action Item) とした .

- ・ STP 会議を年に 2 回開催するが集中審議対象をわけ, 一回は IO や IODP-MI からの報告とそれに関する議論に, 一回は中長期計画や問題点についてあてる議案 (STP Action Item 0708-32) .
- ・ 掘削方針決定に影響する IODP Measurement の取捨選択 (STP AI 0708-33) .
- ・ 微生物研究に悪影響の少ない泥水の選択可能性 (STP AI 0708-34)

#### 次回会議の開催

日本・仙台, ホストは鈴木委員, 2008 年 2 月中で調整することになった .

#### 備考

#### 事務局又はJ-DESCへのご要望・コメント等

・ STP 委員の交代について, 大量交代を避けるため, 予定されていた交代委員 3 名のうち鈴木委員が留任することが国内科学計測部会で決議されています . IODP-MI 等に周知されていないので確認をお願いします .

・ 鈴木委員がホストを引き受けましたので, 調整等によろしくをお願いします .